

ミゼン
生かっ
校生
多高
韓訪

韓国でもビキニ調査へ

マスコミや教員ら協力申し出

韓国・釜山市で初めて
ビキニ水爆実験の影響を
調査していた韓多高校生校教員や生徒と共同で調
査した。くという危険な目に遭っ
た人がいるかもしれない
なんて」。地元大学やマゼミナールの生徒、教員
ら二十五人が二十二日、釜山市影島区の港で、
ビキニ事件当時の日本のマスコミ関係者も「重要な
問題に初めて光が当たっ
た」と、それぞれが調査三日間の現地調査を終
え、高知への帰路に就いる廃船を見付けたが、製
造場所などは特定できな
かった。六〇年代後半かに着手すると話した。
ゼミ顧問の山下正寿さが、地元高校生や教員ら
から協力の申し出が相次らマクロ漁に出た元船員
らからも話を聞いたが、二年までに出漁していた
船が鍵を握っており、そぎ、「無関係の事件」と
いう認識が一般的な同国「核実験のうわさは聞い
たが、仲間の被害は聞い
たことがない」との証言だ。韓多ゼミも調査を続
けたい」と意欲を見せて
いる。でも、調査が始まること
になった。それでも釜山の高校生
は「私たちの国に、被ば一九八五年から六年
間、本県漁船のビキニ被
災を追った韓多ゼミは今
年の事件五十年に向け、
昨秋から調査を再開。韓
国遠洋マクロ漁船の被ば
くや、日本の被ばく船が
韓国に売られていた可能
性があるとして、以前か
ら交流している韓国の高

20日、廃船がつかれた韓国・釜山市影島区の
港で、関係者から話を聞く韓多ゼミの高校生ら